



防災協会だより

平成29年1月
冬春号
編集・発行
武蔵野市民防災協会
☎ 60-1926

防災関連イベント情報 ぜひご観覧・ご参加ください。

開催日	イベント名	会場	時間
1月 8日(日)	武蔵野市消防団出初式	都立武蔵野中央公園	10:00~12:00
1月28日(土)	地域防災セミナー(第7回・第8回)	市役所811会議室	9:30~12:30/13:30~16:30
2月18日(土)	地域防災セミナー(第9回・第10回)	市役所811会議室	9:30~12:30/13:30~16:30
3月11日(土)	吉祥寺駅周辺帰宅困難者対策訓練	吉祥寺駅周辺	14:00~16:00
3月11日(土)	地域防災セミナー(第11回)	市役所811会議室	9:30~12:30
4月 2日(日)	武蔵野桜まつり	むさしの市民公園	10:00~16:00

※上記イベントは変更・中止になる場合があります。詳しくは協会・武蔵野市のホームページ等をご覧ください。

設置してから10年で...

住宅用火災警報器は、平成16年10月から新築・改築する住宅に、平成22年4月からはすべての住宅に設置が義務付けられています。警報器の耐用年数は約10年といわれており、各メーカー等では設置後10年を経過しているものは、電子部品の寿命等による故障や電池切れにより、正常に作動しなくなる恐れがあるため、新しい機器に交換することを推奨しています。



定期的に点検・お手入れを!

警報器は正常に作動するか定期的に点検しましょう。点検は、本体のテストボタンを押すかひも付きのものは、ひもを引くことで行うことができます。音が鳴らない場合は、電池切れや機器の故障、本体の寿命が考えられます。また、警報器にホコリ等の汚れがつくと、火災を感知しなくなる危険性があります。汚れが目立ったら乾いた布等でふき取りましょう。

。 。 。 詳しくは取扱説明書でご確認ください 。 。 。

全国	81.2%	第3位 鹿児島	89.3%
第1位 福井	93.0%	第4位 石川	87.9%
第2位 宮城	90.3%	第5位 東京	87.8%

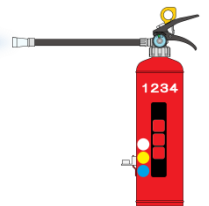
【総務省消防庁「住宅用火災警報器の設置率等の調査結果」より】

消火器等の使用期限は、製造年から3年、5年、8年、10年のものがあります。

本体ラベル等に明示されている製造年または使用期限をご確認ください。

種類	表示例	使用期限
業務用消火器	設計標準使用期限	8年、10年
住宅用消火器	使用有効期限	5年
エアゾール式簡易消火具	品質保証期間	3年
投てき型消火用具	使用期限	5年

消火器にも
使用期限が
あります



(注)使用期限内であっても、錆、傷、変形等がある場合は、新しいものに交換しましょう。

武蔵野市では、消火器販売業者と協定を結び、購入のあっせんをしています(協定価格で購入することができます)。また、家庭用に消火器等を購入された方に補助金を交付する制度があります。詳しくは防災課 ☎60-1821

●出初式

出初式は、消防署員や消防団員等消防関係者による仕事始めの儀式で、消火等を演習・披露する行事です。明暦3（1657）年に起こった「明暦の大火（振袖火事）」を契機に、万治2（1659）年、老中稲葉伊予守正則が定火消（じょうびけし）総勢4隊を率いて、上野東照宮前で「出初」を行い、氣勢をあげたことが由来とされています。東京消防庁では、例年1月6日に挙行されています。【参照元：東京消防庁ホームページ】



武蔵野市では、毎年1月上旬に都立武蔵野中央公園にて「武蔵野市消防団出初式」が実施され、式典、消防演技、一斉放水、消防少年団演技、消防署はしご隊演技、亜細亜大学吹奏楽団による演奏などが行われています。

●防災とボランティアの日（1月17日）と防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）



平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、ボランティア活動が活発化し、これを契機に、災害時におけるボランティア活動及び自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えの充実強化を図る目的で、毎年1月17日を「防災とボランティアの日」とし、その日を含む一週間を「防災とボランティア週間」とすることが決まりました。【参照元：内閣府ホームページ】

武蔵野市では、災害ボランティアセンターの円滑な運営、ボランティアの受け入れ態勢の強化を図ることを目的として、市及び関係機関・団体と協働で「防災ボランティア訓練」を毎年実施しています。

●春の全国火災予防運動（3月1日～3月7日）

日本の「全国火災予防運動」は、明治4（1871）年10月に起こったシカゴ大火を契機に始められたアメリカの「火災予防運動」にならって行われたといわれています。全国統一防火運動のきっかけとなったのは、昭和2（1927）年3月7日に丹後西北部を襲った北丹後地震で、昭和5（1930）年3月に「防火デー」（大日本消防協会と府県の消防協会との共催）の名称で実施されました。その後名称や期間、時期の変更が繰り返され、平成元年に、11月9日から1週間、3月1日から1週間と期間の見直しを行い、春季は一般火災予防運動として春先の火災が多発する時期を前に注意を促しています。【参照元：消防庁・東京消防庁ホームページ】



武蔵野市では、武蔵野消防署員、武蔵野市消防団員、防災推進員が各ご家庭を訪問し、住宅用火災警報器の設置状況等を伺ったり、家具転倒防止器具等の設置推奨など防火・防災対策についての啓発活動を行っています。

- 家庭消火器点検の日（1月19日）
- 文化財防火デー（1月26日）
- 防災農地の日（1月31日）
- 車両・船舶火災予防運動、山火事予防運動、春の建築物防災週間（3月1日～3月7日）
- 防災用品点検の日（3月1日）
- 消防記念日（3月7日）

防災推進員の活動

- 10月 上級救命再講習、武蔵野市国際交流協会「災害用トイレを知る&防災食試食研修」
耐震・耐久セミナー、地域防災セミナー（第1・2回）、武蔵野市総合防災訓練
- 11月 秋の火災予防運動 [防火防災診断]、地域防災セミナー（第3・4回）
- 12月 上級救命講習、地域防災セミナー（第5・6回）、自主防災組織研修



上記研修会等に参加し、知識の習得・実技の修得等防災推進員としての資質の向上に努めたほか、コミセンや地域で行われた防災訓練等にも参加し、防災意識の啓発活動等も行っています。また、毎月担当区域を巡回し、市が設置した消火器の点検を実施しているほか、防災タウンウォッチングを実施し、危険箇所の有無等安全点検と情報収集を行っています。

防災協会では、上記研修会等の主催・共催・協力支援のほか、子育てフェスティバル、グリーンパーク商店会「軒下フェスタ」、青空市、小金井公園防災フェスタ、地域の防災訓練等において、防災用品の展示・販売や災害用トイレの組立指導等も行いました。

自分のまちは自分たちで守る！
防災推進員募集

現在防災推進員が不在となっている6地域14名の推進員を募集しています。応募方法・活動内容などお問い合わせは当協会まで。

市民の防災対策を応援します!!

武蔵野市民防災協会では、転倒防止器具をはじめ、非常食や感震ブレーカー、簡易トイレなど防災関連用品の展示・販売を行っています。武蔵野市役所西棟1階 ☎0422-60-1926 <http://www.shimin-bousai.jp>
<営業時間>月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始を除く） 9:00～17:00